



新入生を代表して力強く宣誓する酒多涼悟さん

葛巻高校の新入生48人 夢に向かって果敢に挑戦

県立葛巻高等学校（菊池優校長・生徒142人）の入学式は4月6日、保護者や来賓、教職員が出席し同校体育館で行われました。今年度は町内から39人、町外から9人、計48人の新入生を迎えました。

菊池校長は「本校における高校生活を生涯の宝とするため『自ら進んで学習する』『規律ある行動をする』『高い目標を掲げて努力する』の三つを心に誓ってほしい」と式辞を述べました。

また、新入生を代表し酒多涼悟さん（葛巻中学校卒）は「夢と希望を持ち続け充実した高校生活の実現を目指します」と力強く宣誓しました。



笑顔いっぱいに躍動感ある舞を披露するメンバーたち

10年間の感謝を込めて 笑顔あふれる舞スマ公演

活動10周年を迎えた舞スマイルダンス教室（越田名緒実代表・メンバー15人）の第3回自主公演「thank you」は3月31日、葛巻小学校体育館で行われ、約250人の観客を魅了しました。

今回の公演には、kanaloha hula 葛巻教室と音を楽しむ会（岩手町）が友情出演。優雅なダンスと美しいハーモニーでステージに花を添えました。

この日のために厳しい練習を積み重ねた7歳から50代までのメンバーは、ライトを浴びてアップテンポな曲に合わせて体いっぱいに舞を披露。躍動感と笑顔あふれるステージはフィナーレまで観客をくぎ付けにし、終了後は惜しめない拍手が送られました。

山地酪農研修センター 第34期生の4人が入所

町山地酪農研修センターの入所式は4月8日、くずまき高原牧場プラトールで行われました。第34期生となる今年度の研修生は、町内から1人、町外から3人の計4人。入所式では、研修生一人一人の名前が読み上げられ、鈴木重男町長から入所が許可されました。

研修生を代表して青森県黒石市出身の盛美佐子さんが「今日からの一日一日の時間を大切にして、学び得た知識や技術を葛巻町の発展に役立てられるよう努力します」と研修への誓いのことばを述べました。これから、くずまき高原牧場内での酪農や製造部門の研修を積みまます。



研修生を代表して誓いの言葉を述べる盛美佐子さん

町産材の学習机を初導入 江刈小入学式でお披露目

町は、江刈小学校（小野公代校長・児童29人）に町産材を使った学習机と椅子を初めて導入しました。机の天板は小野校長が提案した台形型で、3台なら三角形、6台なら六角形と、組み合わせ次第で形が変えられるユニークなもの。天板はカラマツ集成材、脚部や椅子にはスギを使用し、町内の業者が製作しました。

4月5日は同校で入学式が行われ、関係者や保護者にお披露目されました。大川原陽向さん（6年）は「いいおいがして、軽くて運びやすい。いろいろな形になるのが楽しい。新しい机と椅子で勉強を頑張りたい」と意欲を膨らませました。



新しい机の感触を確かめながら、机の組み合わせを楽しむ江刈小学校の児童



部門ごとに入念な審査が行われた共進会

酪農家自慢の牛が85頭 ブラック&ホワイトショウ

岩手県北ホルスタインクラブ（中六角保広会長）主催の第39回岩手県北ブラック&ホワイトショウは4月21日、くずまき高原牧場体験交流センターで開催されました。

町内から49頭、近隣町村から36頭、計85頭の酪農家自慢の牛が出品され、体型や発育の程度、乳房の成長度など改良の成果を競い合いました。

審査の結果、経産牛の名誉賞は6部の藤岡俊策さん（田代）に輝きました。各部の1位に入賞された当町の出品者は次のとおり。▷1部=川下一也（五日市）▷3部・9部・10部・12部=八幡勝幸（星野）▷7部=漆真下孝幸（大沢）▷11部=中村優（大沢）



葛巻中学校の1年生に「非行ぼうし」を手渡す会員

健康で明るい生活願い 非行ぼうしプレゼント

葛巻地区更正保護女性の会（阿部貞子代表・会員6人）は、町内の中学校新1年生47人に帽子型のマスコット「非行ぼうし」をプレゼントしました。

このマスコットは、会員が色鮮やかなひもやリボンなどを使って一つ一つ心を込めて手作りしたもの。「家族、近所の人にあいさつを」「励ましあう真の友達に」などのこれからの明るい生活を願うメッセージも添えられ、保護司とともに学校を訪問し生徒に手渡しました。4月8日に葛巻中学校を訪問した会員の長岡ハルさん（城内小路）は、「地域みんなが、あんじているんだよ。健康で明るい生活を送ってほしい」と生徒に呼びかけました。

